

# JR 広島病院 外来診療のご案内

(平成28年6月1日現在)

診療科	時間	月	火	水	木	金	
Aブロック							
外科	一般外来	午前	小野	吉田(誠)	齊藤	岡本	小野
		午後	岡本	福田		矢野	福田
		午後	矢野	齊藤			吉田(誠)
	乳腺外来				舛本		
甲状腺外来			矢野				
温熱療法外来		小野			小野		
整形外科	午前	佐々木	中村	村尾	佐々木	村尾	
		数佐	土井	新本	中村	土井	
		藤岡	数佐	数佐	藤岡	新本	
慢性腎臓病外来		越智(午後)			越智(午前)		

Bブロック							
内科	消化器内科	午前	三重野	吉田(成)	峠	三重野	峠
		午後	中尾	山科	吉田(成)	中尾	山科
		午後		相光	消化器医師		相光
	ピロリ外来	午後					
		午後					
	循環器内科	午前	寺川	野村	藤井	野村	上田
		午後	上田	寺川	上田	寺川	内村
	呼吸器内科	午前	安武	安武	安武	稲田	安武
		午後	稲田	餘家	稲田	餘家	餘家
	糖尿病専門				広大医師	一町	
神経内科		荒木(午後)		丸山(午前)			
緩和ケア科			新患: 沖政			再診: 沖政	
リハビリ/膠原病			吉田(雄)			倉信	

診療科	時間	月	火	水	木	金
Cブロック						
産婦人科	午前	藤本	手術	藤本	手術	藤本
		高本		高本		高本
		佐野	担当医	佐野	担当医	佐野
	午後			母親学級		
泌尿器科	午前	橋本		橋本・鶴飼		橋本
皮膚科	午前	堀内				
	午後	岡	静川	静川	岡	静川
午後診療 13~16時	午後	診療	手術	診療	手術	診療

Dブロック							
耳鼻咽喉科	午前		長田			宮里	
眼科	午前		渡邊		湯浅		
小児科	一般外来	午前	河野・北村				
		午後	14時~15時	15時半~16時	15時半~16時	14時~15時	14時~15時
	乳児健診	午後		13時半~14時半			
		午後	15時半~16時		13時半~15時	15時半~16時	15時半~16時

Eブロック						
放射線科		伊達・市木・川井				

Hブロック						
リハビリ/リョソ科	午前				中村	

☎ **082-262-1170**  
(代表)

診療受付時間/平日 8:30~11:30  
休診日/土・日・祝日・年末年始

〒732-0057 広島市東区二葉の里3丁目1-36  
【JR 広島駅新幹線口より徒歩約5分】

ご自由にお持ち帰りください

JR 広島病院だより

Medical Corporation JR Hiroshima Hospital

■2016年6月 第1号 発行  
■企画・編集・発行/  
JR 広島病院季刊誌編集会議



広島鉄道病院は平成28年4月より  
JR 広島病院としてスタートしました!

初夏号

## Contents

- 院長よりご挨拶
- 新任医師紹介
- 消化管疾患の医療連携の取り組み
- 広島がん高精度放射線治療センターとの連携
- 専門外来ははじめました! ~乳腺外来~
- 縁の下の力持ち~医療安全管理室より~
- 外来診療予定表

## 医療法人 JR 広島病院 理念

優しさと誠実な医療で 更なる地域貢献をめざします

## JR 広島病院の医療

1. 良質で安全な医療  
常に専門的知識と技術を高め、医療水準の向上を図ることで患者さまに良質な医療を提供します
2. 患者さまと共に築く医療  
患者さまの意向に配慮し、より適切で最適な医療を提供していくための取り組みを推進します
3. 健全な運営による医療の提供  
地域に根ざした健全な病院運営により継続的に医療を提供することで地域における重要な使命を果たしていきます

## 病院長よりご挨拶



爽やかな初夏を迎え、広島では木々の緑も日増しに深くなってまいりました。しかし一方で、4月には熊本、大分地方におきましては、震度6から7の大地震が発生し、甚大な被害を受ける事態となっています。多くの方が被災され、その後の余震にも脅かされながら、不安の中で過ごしておられるとの報道を見聞きするたびに、自然の脅威を思い知らされます。被災された方々に対し心よりお見舞い申し上げますとともに、1日でも早い復興を祈念しています。

私たちの病院は、今年1月に長年の悲願であった新病院に移転し、4月1日からJR西日本の一部門としての企業病院から医療法人へと組織変更を行い、生まれ変わった気持ちで新たなスタートを切りました。それに伴い病院名も広島鉄道病院からJR広島病院に変わり、自主独立した病院としての責任を担って行く事になりました。新たに掲げました基本理念「優しさと誠実な医療で更なる地域貢献を果たすこと」を目指し、職員相互の連携を深め基本方針でもあります「良質で安全な医療」、「患者様とともに築く医療」、の実現に邁進したいと考えています。

診療の中身においては、これまで継続して来ましたが急性期医療における診療機能に加え、がん診療の強化を図る目的で、化学療法センター、内視鏡センター、緩和ケア病棟、ハイパーサーミア・温熱療法室などを立ち上げました。また、当院の新たな領域として腎不全医療にも対応する目的で、人工透析センターを設置し、今まで対応できていなかった透析患者様の手術や、入院を要する検査、治療なども可能となります。もう一つの新しい部門として、ドック健診や一般健診などにも対応する健診センターを新設し、予防医学の立場からも地域での役割を果たして行きたいと考えています。標榜診療科は人工透析外科、消化器外科、緩和ケア内科を加え19診療科の体制となりました。

一方、病院建物については、免震構造を備えた7階建てで、院内トリアージスペースも確保し、災害時にも病院機能を損なうことなく継続した医療が提供できるような配慮や、使用エネルギーの面では太陽光を用いた電力・温水生成装置の設置など環境対策へも配慮した造りになっています。病床規模は、275床、緩和ケア病棟、地域包括ケア病棟を含め7病棟を構成し、CT、MRI、血管撮影装置などの医療機器や医療情報システムなどの更新、整備も行いました。また、当院の特徴として、隣接地に広島がん高精度放射線治療センター(HIPRAC)と緊密な連携を進めています。当院には放射線治療施設はありませんので、今までは市内の治療施設を有する医療機関にお世話になることが多かったのですが、現在はほとんどの症例をHIPRACにお願いさせていただき、また、週に一度HIPRACのスタッフの先生に院内で放射線治療相談外来を開いていただいています。それらのことにより放射線化学療法、症例によっては電磁波温熱療法を加えるなど、幅広い集学的治療が可能となりました。

このような診療体制の中で、大学病院やその他の地域の医療機関との診療連携の絆を大切に、広島市東区の基幹病院として、職員一同力を合わせて努力を続け、地域の皆様方の健康を守るために貢献して行きたいと存じますので、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

医療法人JR広島病院 病院長  
小野 栄治

## 新任医師紹介



外科 医長

吉田 誠 (よしだ まこと) 先生

このたびJA尾道総合病院より転任してまいりました。専門は癌を中心とした下部消化管疾患と、骨盤臓器脱(直腸脱など)、肛門疾患の外科治療、腹腔鏡下手術です。「おなか」から「おしり」まで、急性腹症、癌から排便障害まで、なんでも気軽にご連絡ください。フットワークよく地域の医療に貢献してゆきたいと考えています。よろしくお願ひします。



整形外科 医長

土井 一義 (どい かずよし) 先生

平成28年4月1日付で中電病院より異動してきました。中電病院には5年間勤務してまいりました。主に人工股関節の手術を行ってまいりましたが、腰椎や外傷の手術、整形外科全般の治療をしてまいりました。新しい病院に勤務することになり、気持ちも新たに必要とされる医療を行ってまいりたいと思ひます。よろしくお願ひ致します。



麻酔科 医長

中郷 あゆみ (なかごう あゆみ) 先生

4月より広島大学病院から当院麻酔科に赴任しました。至らない点も多々あるかと思ひますが、地域医療に少しでも貢献できるよう丁寧な麻酔、診察を心がけてまいりたいと思ひしております。麻酔に不安があれば、できる限りお答えしますので、なんでもご相談ください。宜しくお願ひ致します。



眼科 医師

湯浅 知世 (ゆあさ ともよ) 先生

国立呉医療センターから4月1日に異動してまいりました。当院では、医師2名体制で眼科一般診療や白内障手術を主にまいっております。丁寧な診察、わかりやすい説明を心がけ、患者様に信頼していただける医療を目指してまいります。目について少しでも気になることがあれば、お気軽にご来院、ご相談ください。



放射線科 医師

川井 咲 (かわい さき) 先生

本年4月より放射線科に赴任しました、川井咲と申します。私は高校まで神奈川で育ち、大学6年間を山梨で過ごしました。大学卒業後、3年間広島大学病院で勤め、今回の赴任に至ります。1歳の娘がおり、とても慌ただしい毎日ですが、職場環境に恵まれ毎日充実した日々を送っています。広島のこと医学についても知らないことが多い未熟者ですが、少しでも皆様のお役に立てるよう精一杯頑張りたいと思ひますので、よろしくお願ひ致します。

# 消化管疾患の医療連携の取り組み ～診断から治療まで～

消化器内科



消化器内科医長  
吉田 成人 先生より

日本消化器学会専門医・指導医、日本消化管学会胃腸科専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医、日本内科学会認定内科医・指導医、日本消化器がん検診学会認定医・指導医、日本がん治療認定医機構認定医、日本ヘリコバクター学会・H.pylori 感染症認定医  
1992年広島大医学部卒

消化管がんや炎症性疾患などの診断・治療を専門とし、なかでも超音波内視鏡を用いた診断を得意としています。低侵襲な診断治療をモットーとしております。

消化器外科



消化器外科部長  
福田 敏勝 先生より

日本外科学会専門医・指導医、日本消化器外科学会専門医、日本消化器病学会専門医、1990年広島大医学部卒

平成 27 年 4 月に JR 広島病院外科に赴任しました福田です。私は、一般外科、消化器外科に従事しており、中でも胃、肝・胆・膵外科を専門にしています。今回は腹腔鏡下胃切除術についてお話をさせていただきます。

## ■ 消化管腫瘍の診断と治療

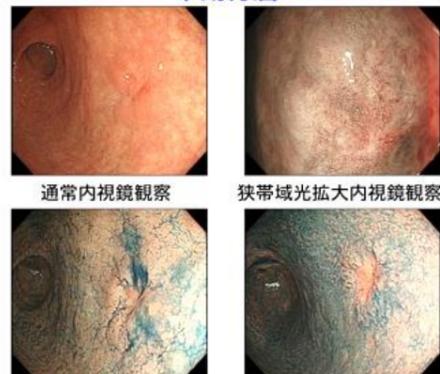
消化管腫瘍には癌などの上皮性腫瘍と、粘膜下腫瘍などの非上皮性腫瘍があります。その診断にはそれぞれ適した検査法があり、主に消化管内視鏡検査、消化管造影 X 線検査、CT 検査、体外式超音波検査などで診断を行います。

消化管内視鏡観察には基本となる通常内視鏡観察、画像強調観察として NBI や BLI などの狭帯域光観察やインジゴカルミンなど色素観察、100 倍を超える観察が行える拡大内視鏡観察や消化管検査で最も解像度の高い断層像が得られる超音波内視鏡観察があります。

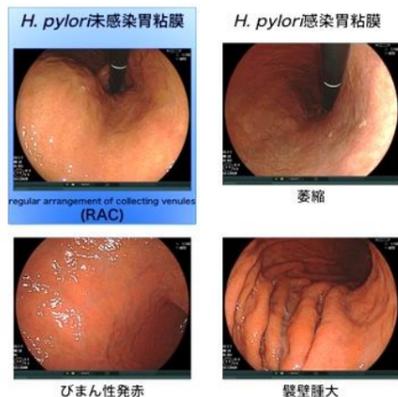
実際の診療では、それぞれを単独または組み合わせて検査を行いますが、たとえば早期の胃癌や大腸癌などは通常観察に加え色素観察、狭帯域光拡大内視鏡観察、超音波内視鏡観察を用いて深達度診断や範囲診断を行い内視鏡治療の適応を決定します。また消化管粘膜下腫瘍に対しては、通常内視鏡観察、超音波内視鏡観察、CT 検査、体外式超音波検査を用いて診断を行います。

当院では内視鏡治療の適応病変に対しては、ESD、EMR などの内視鏡治療を行い、適応外病変に関しては消化器外科にての外科治療、HIPRAC（広島がん高精度放射線治療センター）での放射線治療、化学療法、温熱療法などによる集学的治療を行っています。

### 早期胃癌



### 粘膜下腫瘍



## ■ ヘリコバクター感染症

ヘリコバクター・ピロリ菌は胃の粘膜に炎症を起こし、慢性胃炎・胃潰瘍・胃癌の原因になっています。平成 25 年 2 月にはこれまで保険適用となっていた胃・十二指腸潰瘍、胃 MALT リンパ腫、ITP に加えヘリコバクター・ピロリ感染胃炎に対しても除菌治療が行えるようになりました。この事によりほぼ全てのヘリコバクター・ピロリ感染者が保険診療で治療適応となり、「H. pylori 感染胃炎」を基盤に有する萎縮性胃炎、胃過形成性ポリープおよび H. pylori 陽性の機能性ディスペプシアなどに対する除菌治療が可能となっています。

なお、ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎の診断と治療においては、内視鏡検査で胃炎の確認を行う事は必須となっております。ヘリコバクター・ピロリ感染の診断や治療、内視鏡検査をご希望される方、また、保険診療で除菌が行えない 2 次除菌で不成功であった方やペニシリンアレルギーの方に対する除菌治療も自由診療で行っておりますのでかかりつけ医にご相談の上ご予約ください。

## ■ 腹腔鏡手術とは？

腹腔鏡手術は、腹部にあけた数か所の小さな穴からカメラと手術器具を出し入れして行う手術です。開腹手術に比べると、術後疼痛が少ない、腸管蠕動の回復が早い、整容性が高いなどの利点があります（図 1）。腹腔鏡下胃切除を行う疾患としては、胃癌、胃 GIST などの胃粘膜下腫瘍があります。胃癌に対しては、術前検査でリンパ節転移を認めない早期胃癌の患者様を腹腔鏡下胃切除術の適応としています。

平成 27 年度の胃切除症例 25 例のうち、腹腔鏡下胃切除術は 13 例（52%）でした。腹腔鏡下胃切除術を施行した疾患は胃癌 9 例、胃粘膜下腫瘍 4 例で、術式は腹腔鏡下胃全摘術 3 例、腹腔鏡下幽門側胃切除術 6 例、腹腔鏡下胃局所切除術 4 例でした（表 1）。術後合併症はなく、術後平均 15 日間でみなさん軽快退院されています。

表 1 平成 27 年度 腹腔鏡下胃切除症例 13 例

疾患	胃癌	9 例
	胃粘膜下腫瘍	4 例
術式	腹腔鏡下幽門側胃切除術	6 例
	腹腔鏡下胃局所切除	4 例
	腹腔鏡下胃全摘術	3 例



図 1 腹腔鏡下幽門側胃切除術の手術創

★手術は治療のためとはいえ患者様に負担をしいる側面があります。

従来からの治療の質を保ちつつ、腹腔鏡手術により少しでも安楽に治療を受けていただけることができるように努めています。



## ハイブラック外来

毎週水曜日午後  
(完全予約制)

### 広島がん

#### 高精度放射線治療センターとの連携

JR 広島病院に通院中のがん患者様に適切で効果的な放射線治療をスムーズに提供するために、毎週水曜日午後ハイブラック外来（広島がん高精度放射線治療センターとの医療連携）を開いております。ハイブラックへの通院は JR 広島病院の主治医からの完全紹介制となっております。

こんにちは！ JR 広島病院の西隣に 2015 年 10 月より新規開業しております、**広島がん高精度放射線治療センター（略称：HIPRAC 通称：ハイブラック）**です。

ハイブラックは放射線治療専門病院であり、最先端の放射線治療機器を駆使して、がん治療を行います。

患者様におかれましては、主治医の先生とよく相談しお越しく下さい。



#### Q.1 高精度放射線治療とは？

A. 放射線治療は、がん治療の 3 本柱（手術 抗がん剤 放射線治療）の一つです。がんを完全に治す、がんの転移による痛みを和らげるなど、放射線治療はがん治療の様々なステージで幅広く用いることが出来ます。放射線治療は 1 日 1 回、約 15 分の治療を必要な回数だけ繰り返します（回数及び日数はがんの種類や病状によって異なります）。放射線治療に伴う疼痛などは一切なく、外来通院治療が可能です。

#### Q.2 ハイブラックで放射線治療を受けるには？

A. ハイブラックは主治医の先生方と一緒にがん治療を行います。放射線治療に興味がありましたら、是非一度、主治医の先生にご相談ください。放射線治療の必要がありましたら、主治医の先生方からハイブラック外来へご紹介いただくか、もしくはハイブラックへ直接ご紹介いただくことになります。

#### Q.3 放射線治療の治療費は高いの？

A. ハイブラックで行う放射線治療は全て保険診療です。総治療金額は治療手技で異なりますが、療養費制度を申請されると、上限額以上の金額は還付されます。療養費制度に関して詳しく知りたい場合は、JR 広島病院 1 階、入退院センターにてお問い合わせください。

#### Q.4 ハイブラックにはどうやって行ったらいいの？

A. ハイブラックは JR 広島病院の西隣りの 2 階建ての黒い建物です。車でお越しの際は建物北側より入る地下駐車場を是非ご利用ください。  
※ハイブラックに受診された患者様は駐車料金無料です。



## 乳腺外科

毎週水曜日午前  
(完全予約制)

## 専門外来ははじめました！



### 広島大学病院 乳腺外科 舛本 法生 先生より

本年度の 4 月より広島大学からの派遣で毎週水曜日の午前に乳腺外科を担当させて頂くことになりました舛本法生（ますもと のりお）と申します。

乳がんは、年々増加しており女性の最も罹患率の高いがん、現在では約 12 人に 1 人が一生のうちに乳がんになります。広島大学病院でも 7 年前の乳がんの手術症例は 130 例でしたが、昨年は 280 例に増加しております。また他のがんと異なり若い世代に多いことも特徴です。30 歳代から認められ、40 歳代後半から 50 歳代前半でピークを迎え、その後は少しずつ減少していきます。働き盛りや、子育ての大変な時期に発見される方も多く、いやな疾患です。

しかし乳がんになっても、早期であれば、適切な手術・薬物療法（ホルモン治療や抗がん剤、分子標的薬剤）・放射線治療などにより完治する可能性が高い疾患でもあります。広島大学病院のデータでも 0 期乳がんの 10 年生存率は 100%、I 期は 92%、II 期は 84% で早期に発見すれば、完治する率が高まっております。早期発見のためには触診やマンモグラフィ、超音波などによる検診、また何らかの症状がある場合は乳腺外科や専門の外科での受診が必要です。

また最近では、乳がんの発症は遺伝的要因が関係することも明らかになっております。血縁に乳がんの方がいらっしゃる場合はしっかりと検診が必要です。JR 広島病院は乳腺検査に必要なマンモグラフィ、超音波装置、MRI があり、迅速に検査することが可能です。また針生検などの病理検査を迅速に行うことも可能です。

私が 16~17 年前、研修医として鉄道病院で勉強させて頂いていた頃は、当時から充実したスタッフの方が揃っていましたが、しかし病院がやや古い印象でした。今回、初めて伺った際には見違えるように綺麗で大変びっくり致しました。このような環境で仕事をさせて頂けることに大変うれしく思います。乳腺外来が周辺地域の患者さんに質の高い検査・治療を受けていただく手助けができればと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## JR 広島病院の 縁の下の力持ち！

### 医療安全管理室より

当院では、医師部門・薬剤部門・検査部門・看護師部門・事務部門よりチーム編成して、院内における医療安全管理を統括しています。

医療安全に関わる委員会等と連携して、病院の質の向上をめざし、医療安全に関わる取り組みを推進してまいります。



二宮薬剤師

峠消化器内科部長

医療安全管理者：  
田村看護師

感染管理：新田師長

室長：岡本診療部長

河村臨床検査副技師長